

解答

一

- (一) ① 日々の生活
② どうすれば / 自分の何を
- (二) 1 (われに) かえる
2 (思案に) くれる
私の方も疲れたよ。
- (三) ① 三歳の子のように無邪気に母にあまえることができない自分に気づき、成長することに残酷さを感じたという気持ち。
- (四) ② 短歌は日常生活の中で、心が揺れた瞬間を切り取るものであり、感想を言い合うことで自分の心の芯に触れる、心の戦いだと実感したから。
はつきりと言いつける様子。
- (五) ⑥ きれいに ① やわらかく ② すなおに
ちゃんとした
「そうなんだ」
1 オ 2 イ 3 カ
今の自分
- (六) ① 短歌 ② 事故
ア 2 イ 1 ウ 3
- (七) ④ 傷つける ⑤ いやす
- (八) この連歌には、下の句を詠む綾美に対する「私」の信頼と、「私」の言葉に応えようとする綾美の誠実さが表現されている。短歌とは、言葉によって自分の心の芯を認識し、自分の気持ちを相手に届けるものである。
- (九) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十一) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十二) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十三) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十四) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略
- (十五) ① 操作 ② 登録 ③ 縮まらない ④ 計略

解説

一

- (三) ① Bの前後には、綾美のことを気づかい、「うた部」のことを話す私の姿が描かれています。家のことも綾美のことも全部切り離して、このまま消えちゃいたいと思っていることから、「疲れてるから無理かも」という言葉に対し、「私の方も疲れたよ。」等の言葉が考えられます。
- (十) ① Hの前後に着目して考えます。負けることでわかる大事なことであり、行きたい場所を目指すために知るべきことを表す内容がふさわしいので、「今の自分」、「今いる場所」等が考えられます。